



支部だより

第 72 号

編集・発行

日本気象学会中部支部

〒464-0039

名古屋市千種区日和町 2-18

名古屋地方気象台内

電話 052-751-5124

2011.6.5

目次

- ・ 2011 年度（平成 23 年度）の始まりにあたって
- ・ 2011 年度（平成 23 年度）中部支部総会のお知らせ
- ・ 議案(1)：2010 年度（平成 22 年度）中部支部事業報告
- ・ 議案(2)：2010 年度（平成 22 年度）中部支部会計報告
- ・ 議案(3)：2010 年度（平成 22 年度）中部支部会計監査報告
- ・ 議案(4)：2011 年度（平成 23 年度）中部支部事業計画案
- ・ 議案(5)：2011 年度（平成 23 年度）中部支部予算案
- ・ 中部支部第 19 期役員の補充
- ・ 今年度の公開気象講座について
- ・ 今年度の支部研究会について

◆ 2011 年度（平成 23 年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 高瀬 邦夫

平成 23(2011)年 3 月 11 日に発生した東日本大震災(平成 23 年東北地方太平洋沖地震)は、関東大震災(1921 年)以来の多くの方が犠牲となった自然災害となりました。もとより、地震動のような地球内部の現象は、大気現象とは、支配する物理法則や時間的・空間的スケールは大きく異なるものです。しかし、起こり得る現象の規模・強度の上限を解明することは、気象学・大気科学においても重要な課題です。

当地域では、伊勢湾台風、北陸豪雪、東海豪雨など、わが国最大級の現象が観測されていますし、紀伊半島の多雨、濃尾平野の高温、中部山岳の多雪など気候的にも特筆すべきものです。

これらの現象に関しては、近代気象学の黎明期から現在に至るまで、中部支部に所属する会員が精力的に研究を進めてこられ、成果を上げておられます。

これらの研究を背景に、中部支部の事業として「台風」「豪雨」「高温」などに関する公開講座、シンポジウムを開催してきました。また、会員の所属する機関においても、多くの研究集会、講演会、シンポジウムが精力的に開催されてきました。

これらの活動は、学術面での貢献のみならず、一般市民への科学、防災知識の普及に役立っているものと思います。今後も、大学や研究機関の会員による先進的な研究と併せて、幅広い分野の会員の皆様により、地域に密着した研究を進められることを願っています。

昨年度も充実した支部活動を行いました(詳しくは、事業報告をご覧ください)。

中部支部研究会は、富山市で開催しました。31 件のこれまでにない多数の研究発表がなされ、ミクロからグローバルまで、そして地域特有の現象と、意義深いものでした。発表をされた方々に敬意を表しますと共に、運営に尽力いただいた富山大学、富山地方気象台の皆様へ感謝いたします。

公開講座は、「集中豪雨」と題し、名古屋大学の篠田会員、気象研究所の鬼頭会員、石原会員、気象庁の牧原会員から、それぞれ、雲～メソスケール、長期変動、観測システム、予報・防災の観点でホットなお話をいただきました。

そして、当支部では初めてのサイエンスカフェを名古屋市と長野市で開きました。講師を引き受けていただいた大和田会員、神沢会員、開催に尽力された、気象予報士会、信州大学、長野地方気象台の皆様へ感謝いたします。

さて、今年度は、日本気象学会秋季大会を当支部の受け持ちで、名古屋大学を会場として 11 月 16-18 日に開催します。支部会員の皆様の積極的な参加を期待します。

特に研究発表については、中部支部研究会に代えるものとして、支部会員の研究発表の参加支援を行います。また、気象学会秋季大会公開シンポジウム「理学と工学の融合が切り開く新しい都市環境学」を支部公開講座に代わるものとして開催します。名古屋市などの都市域の高温や都市水害などの講演が予定されています。こちらにも積極的な参加をお願いします(詳しくは、本支部だよりの記事をご覧ください)。

今年度も、幅広い会員の皆様の交流と研究・活動が推進されるとともに会員間の連携が深まることを期待しております。

◆ 2011 年度(平成 23 年度) 中部支部総会のお知らせ

1. 日時 2011 年(平成 23 年) 7 月 22 日(金) 16 時 00 分から
 2. 場所 名古屋地方気象台 会議室
 3. 総会次第
 - 1) 開会の辞
 - 2) 支部長挨拶
 - 3) 議長選出
 - 4) 委任状及び出席者報告
 - 5) 議案
 - (1) 2010 年度(平成 22 年度) 中部支部事業報告
 - (2) 2010 年度(平成 22 年度) 中部支部会計報告
 - (3) 2010 年度(平成 22 年度) 中部支部会計監査報告
 - (4) 2011 年度(平成 23 年度) 中部支部事業計画案
 - (5) 2011 年度(平成 23 年度) 中部支部予算案
- 議案の番号は総会参加票に示された番号です。
議案の詳細は以下に示します。

◆ 議案

議案(1) 2010年度(平成22年度)中部支部事業報告

- 5月11日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部常任理事会を開催いたしました。
- 5月20日 支部だより第70号発行を発行しました。
支部長挨拶、総会のお知らせ、議案、第18期役員補充、第19期役員選挙のお知らせ、第16回公開気象講座開催のお知らせ、平成22年度支部研究会の開催案内などを掲載しました。
- 6月25日 第19期役員選挙を実施いたしました。
- 7月23日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたしました。
- 8月4日 名古屋市内のcafe & bar Permsにて、第1回気象サイエンスカフェ「なぜ名古屋は暑いのか」を開催しました。スピーカーに大和田道雄氏(愛知教育大学名誉教授)をお迎えしました。参加者は44名でした。
- 8月23日 名古屋大学野依記念学術交流館にて、第16回公開気象講座を開催いたしました。テーマは「集中豪雨」で、講師に石原正仁氏(気象庁気象研究所)、篠田太郎氏(名古屋大学地球水循環研究センター)、鬼頭昭雄氏(気象庁気象研究所)と牧原康隆氏(気象庁)を迎えて、集中豪雨に関する最新の研究と予報技術に関するわかりやすい公演を行っていただきました。会場には80名を超える参加者がありました。
- 10月23日 長野市内の信州大学教育学部にて、第2回気象サイエンスカフェ「地球温暖化の科学的理解」を開催いたしました。スピーカーに神沢博氏(名古屋大学教授)をお迎えしました。参加者は17名でした。
- 11月1日 支部だより第71号を発行しました。2010年度支部総会の報告、第19期役員選挙の報告、第16回公開気象講座の報告、平成22年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラムなどを掲載しました。
- 11月15日～16日 富山市の富山大学において、平成22年度気象学会中部支部研究会を開催しました。2日間にわたって29件の講演が行われました。両日ともに参加者は50名(1日目は80名)以上となりました。
- 12月21日 2011年度日本気象学会秋季全国大会(名古屋にて開催)のシンポジウムのテーマを決めるための会合を名古屋大学にて開催しました。
- 2月18日 2011年度日本気象学会秋季全国大会の第一回実行委員会を名古屋大学にて開催いたしました。

議案(2) 2010年度(平成22年度)中部支部会計報告

22年度収支計算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

単位：円

	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	750,800	750,800	0	注1
公開気象講座補助金	100,000	100,000	0	注2

事業収入			0	
公開気象講座参加費 (テキスト代・送料含む)	47,000	49,240	△ 2,240	
雑収入				
預金利子	200	172	28	
その他				
事業活動収入計(1)	898,000	900,212	△ 2,212	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	32,000	23,770	8,230	
支部だより印刷費	0	0	0	
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	32,000	23,770	8,230	
ホームページ運営費	52,000	51,660	340	
サーバー借料	52,000	51,660	340	
公開講座開催費	128,600	151,996	△ 23,396	
公開講座会場費	0	0	0	
公開講座運営費	58,600	41,080	17,520	
テキスト印刷費	0	20,796	△ 20,796	インク
公開講座講師謝金・旅費	70,000	90,120	△ 20,120	4人分
支部研究会開催費	542,840	527,765	15,075	
支部研究会会場費	30,000	18,000	12,000	
支部研究会運営費	102,840	81,425	21,415	注3
支部研究会講演予稿集印刷費	210,000	220,500	△ 10,500	注4 単価
支部研究会参加旅費	200,000	207,840	△ 7,840	
その他事業費	0	0	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	53,600	32,800	20,800	
総会資料印刷費	10,600	4,900	5,700	総会ハガキ
理事会開催費	3,000	2,040	960	
理事会交通費(全国大会実行委員会)	40,000	25,860	14,140	会計監査含む
役員選挙費	16,960	15,980	980	
選挙公報・投票用紙発送費	16,960	15,980	980	
選挙管理委員会費	0	0	0	
事務費	72,000	77,119	△ 5,119	
通信運搬費	8,000	2,440	5,560	
消耗品費	11,500	19,304	△ 7,804	
労務費	0	0	0	

その他支出 設備費	52,500	55,375	△ 2,875	注5
事業活動支出計(2)	898,000	881,090	16,910	
Ⅲ 予備費	0	0	0	
予備費支出計(3)	0	0	0	
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	0	19,122	△ 19,122	
前期繰越収支差額(B)	0	0	0	
次期繰越収支差額(A)+(B)	0	19,122	△ 19,122	

注1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200X334=400,800 と均等割り 350,000 円の和で計上（予算計上は334名）

注2：本部からの夏季公開気象講座としての補助金

注3：労務費、お知らせ・要旨集発送費（95円*283部）

注4：単価612.5円*360部

注5：プリンター、封筒・用紙購入費

支部強化基金 収支決算書

中部支部

(2010年4月1日～2011年3月31日)

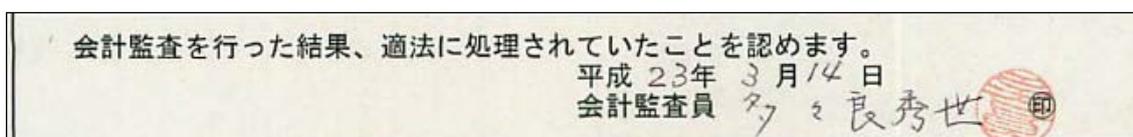
単位:円

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	121,000	121,000	0
地区研究会等への支援	55,000	55,000	0
サイエンスカフェ	66,000	66,000	0
事業活動収入計(1)	121,000	121,000	0
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	55,000	0	55,000
交通費	40,000	0	
宿泊費	15,000	0	
サイエンスカフェ(2回開催)	66,000	55,360	10,640
1) 愛知県内(名古屋市)	23,000	20,880	2,120
チラシ・資料印刷	3,000	2,240	760
講師謝金	10,000	10,000	0
講師交通費(準備等)	10,000	8,640	1,360
2) 中部支部内(長野市)	43,000	34,480	8,520
チラシ・資料印刷	3,000	0	3,000

講師謝金	10,000	10,000	0
講師交通費（宿泊・振込含む）	30,000	24,480	5,520
事業活動支出計(2)	121,000	55,360	65,640
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)		65,640	
本部へ返金（送料含む）		65,640	

議案(3) 2010年度（平成22年度）中部支部会計、支部強化基金会計監査報告

2010年度中部支部会計報告、支部強化基金会計報告について、多々良会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。



議案(4) 2011年度（平成23年度）中部支部事業計画（案）

5月12日 名古屋地方気象台会議室において、常任理事会が開催されました。

6月上旬 支部だより第72号（本号）を発行いたします。

第72号は6月上旬に、支部長挨拶、総会のお知らせ、議案、事業計画等を掲載して発行する予定です。

7月22日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたします。

11月16～18日 名古屋大学にて日本気象学会秋季全国大会を当支部の受け持ちで開催いたします。全国大会が、中部地区で開催されますので、今年度の支部研究会は中止とし、代わるものとして、今年度の秋季全国大会で発表される中部支部会員の方には、旅費の一部を援助します。

大会2日目に公開シンポジウム「理学と工学の融合が切り開く新しい都市環境学」を予定しています。今年度は本シンポジウムを中部支部公開気象講座の代わりとさせていただきます。

12月 支部だより第73号を発行いたします。中部支部総会の報告、日本気象学会秋季全国大会の報告等を掲載する予定です。

その他 サイエンスカフェを愛知県内2回、中部支部内で1回開催します。地区研究会への支援を行います。

議案(5) 2011年度（平成23年度）中部支部予算案

収支予算書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

単位：円

	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	730,400	750,800	△ 20,400	注1

公開講座補助金	100,000	100,000	0	注2
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	0	47,000	△ 47,000	
雑収入				
預金利子	200	200	0	
事業活動収入計(1)	830,600	898,000	△ 67,400	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	35,000	32,000	3,000	
支部だより印刷費	10,000	0	10,000	注3
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	25,000	32,000	△ 7,000	
ホームページ運営費	52,000	52,000	0	
サーバー借料	52,000	52,000	0	
公開講座開催費(シンポジウム)	100,000	128,600	△ 28,600	
公開講座会場費	0	0	0	
公開講座運営費	0	58,600	△ 58,600	
要旨集増刷・発送費(シンポジウム)	100,000	0	100,000	注4
公開講座講師謝金・旅費	0	70,000	△ 70,000	
支部研究会開催費	500,000	542,840	△ 42,840	
支部研究会会場費	0	30,000	△ 30,000	
支部研究会運営費	0	102,840	△ 102,840	
支部研究会講演予稿集印刷費	0	210,000	△ 210,000	
全国大会参加費・旅費補助	500,000	200,000	300,000	
(管理費支出)				
総会・理事会費	53,000	53,600	△ 600	
総会資料印刷費(往復はがき)	10,000	10,600	△ 600	
理事会開催費	3,000	3,000	0	
理事会交通費	40,000	40,000	0	
役員選挙費	0	16,960	△ 16,960	注5
選挙公報・投票用紙印刷費	0	16,960	△ 16,960	
選挙管理委員会費	0	0	0	
事務費	38,000	72,000	△ 34,000	
通信運搬費	8,000	8,000	0	
消耗品費	20,000	11,500	8,500	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	10,000	52,500	△ 42,500	注6

事業活動支出計(2)	778,000	898,000	△ 120,000	
Ⅲ 予備費	52,600	0	52,600	
予備費支出計(3)	0	0	0	
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	52,600	0	52,600	
前期繰越収支差額(B)	19,122	0	19,122	
次期繰越収支差額(A)+(B)	71,722	0	71,722	

注1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200X317=380,400と均等割り350,000円の和で計上(予算計上は317名)

注2：本部からの夏季公開気象講座としての補助金

注3：プリンターインク代(昨年度実績)

注4：中部支部会員用

注5：役員選挙なしで減額

注6：プリンター修理費で計上

支部強化基金 収支予算書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

単位:円

	予算額	前年度予算額	増減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	141,000	121,000	20,000
地区研究会等への支援	55,000	55,000	0
サイエンスカフェ	86,000	66,000	20,000
事業活動収入計(1)	141,000	121,000	20,000
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	55,000	55,000	0
交通費	40,000	40,000	0
宿泊費	15,000	15,000	0
サイエンスカフェ(3回開催)	86,000	66,000	20,000
1) 愛知県内(2回)	46,000	23,000	23,000
チラシ・資料印刷	6,000	3,000	3,000
講師謝金	20,000	10,000	10,000
講師交通費	20,000	10,000	10,000
2) 中部支部内	40,000	43,000	△ 3,000
チラシ・資料印刷	3,000	3,000	0
講師謝金	10,000	10,000	0
講師交通費	27,000	30,000	△ 3,000

◆ 第19期中部支部役員の補充

平成23年(2011年)4月1日付けの人事異動により、田代憲一理事(北陸地区)と三角幸夫理事(長野・静岡地区)がそれぞれの地区から転出し、役員資格を喪失した。このため日本気象学会中部支部選挙細則第4条の規定に従い、北陸地区理事の後任として木平泰浩会員、長野・静岡地区理事の後任として八尾孝会員を第19期理事に推薦する。任期はいずれも2012年6月30日までである。

	新	旧
北陸地区理事	木平泰浩(金沢地方気象台)	田代憲一(富山地方気象台)
長野・静岡地区理事	八尾 孝(長野地方気象台)	三角幸夫(長野地方気象台)

◆ 今年度の公開気象講座について

公開気象講座は、一般の方々の関心も高く、毎年多くの方の参加をいただいております。今年度は11月16日～18日に名古屋大学にて日本気象学会秋季全国大会が開催され、大会2日目(17日)の午後に公開シンポジウム「理学と工学の融合が切り開く新しい都市環境学」が予定されています。今年度はこのシンポジウムを公開気象講座の代替とさせていただきます。なお、シンポジウムのみの参加は無料です(他のセッション等に参加される場合は、別途大会参加費が必要となります)。積極的なご参加をおまちしております。全国大会終了後、中部支部会員の皆様にはシンポジウムのテキストを郵送する予定です。

参考に昨年度までの中部支部で取り組んだ公開講座のテーマを資料として載せてあります。なお、第13回以降の資料が事務局にありますので、希望のある方は資料を参照のうえ事務局まで申し込んでください。

◆ 今年度の支部研究会について

支部研究会は会員のみなさまの研究交流の場として毎年11月頃に開催されています。今年度は11月に日本気象学会秋季全国大会が中部地区で開催されますので、支部研究会は中止とさせていただきます。支部研究会に代わるものとして、今年度の気象学会秋季全国大会で発表される中部支部会員の方には、旅費の一部を援助する予定です。中部支部会員の方々には全国大会での積極的な発表をお願いいたします。全国大会の応募要領などは学会誌「天気」6月号に掲載されます。中部支部からの旅費の援助に関する具体的な方法は8月頃にお知らせする予定です。

企画などの問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学地球水循環研究センター
藤波初木

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436

E-mail：hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp

資料

公開気象講座のこれまでのテーマは以下の通りです。

- 第1回 台風の科学 (1994年)
- 第2回 異常気象と日本の天候 (1995年)
- 第3回 気象環境と東海地方—温暖化、酸性霧・雨、オゾン層— (1996年)
- 第4回 生まれ変わった気象情報 (1997年)
- 第5回 気象災害を防ぐ (1998年)
- 第6回 エルニーニョ現象と異常気象 (1999年)
- 第7回 天気予報の昔、今、将来 (2000年)
- 第8回 名古屋の夏は何故暑い？ (2001年)
- 第9回 竜巻と雷 (2002年)
- 第10回 黄砂を観る (2003年)
- 第11回 台風研究の最前線 (2004年)
- 第12回 地球環境のしくみを実験で理解する (2005年)
- 第13回 地球温暖化 (2007年)
- 第14回 気象観測のブレイクスルー：GPS掩蔽法 (2008年)
- 第15回 台風研究の最前線 (2009年)
- 第16回 集中豪雨 (2010年)

第13回の地球温暖化 (2007年)～第16回集中豪雨 (2010年) までの資料をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。料金等は：1部 300円+送料です。

事務局
日本気象学会中部支部
〒464-0039
名古屋市千種区日和町 2-18
名古屋地方気象台内
幹事 高井元治
電話 052-751-5124
E-mail : m-takai@met.kishou.go.jp